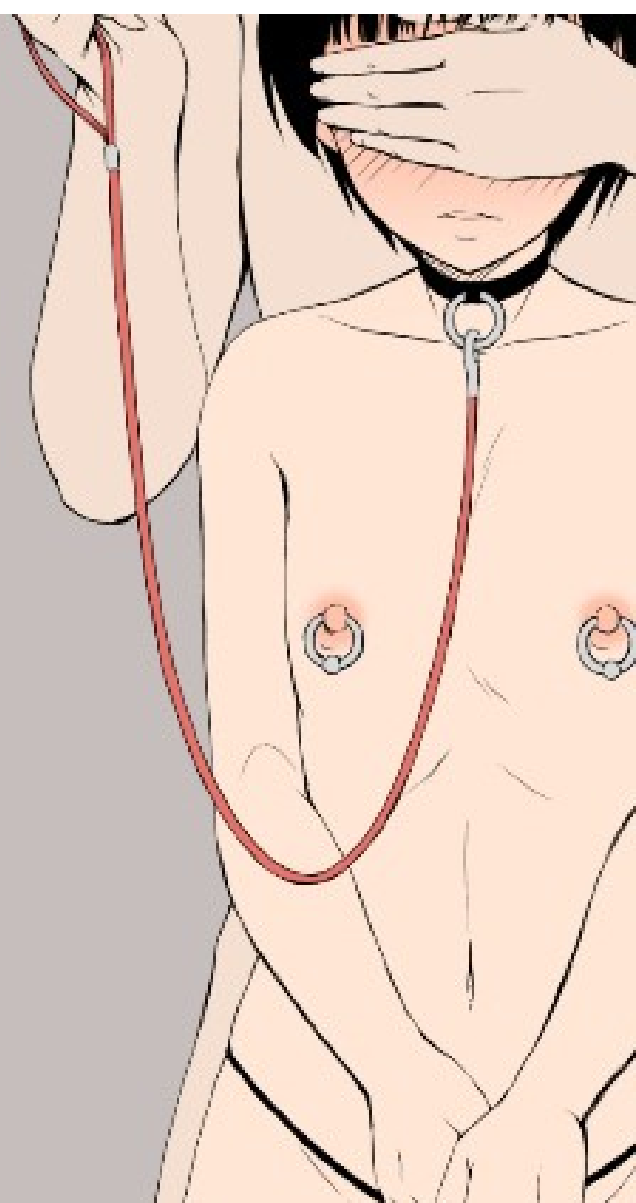


**MY
UNVEILING
CEREMONY.**





And
today
is...



And
also my
master
...

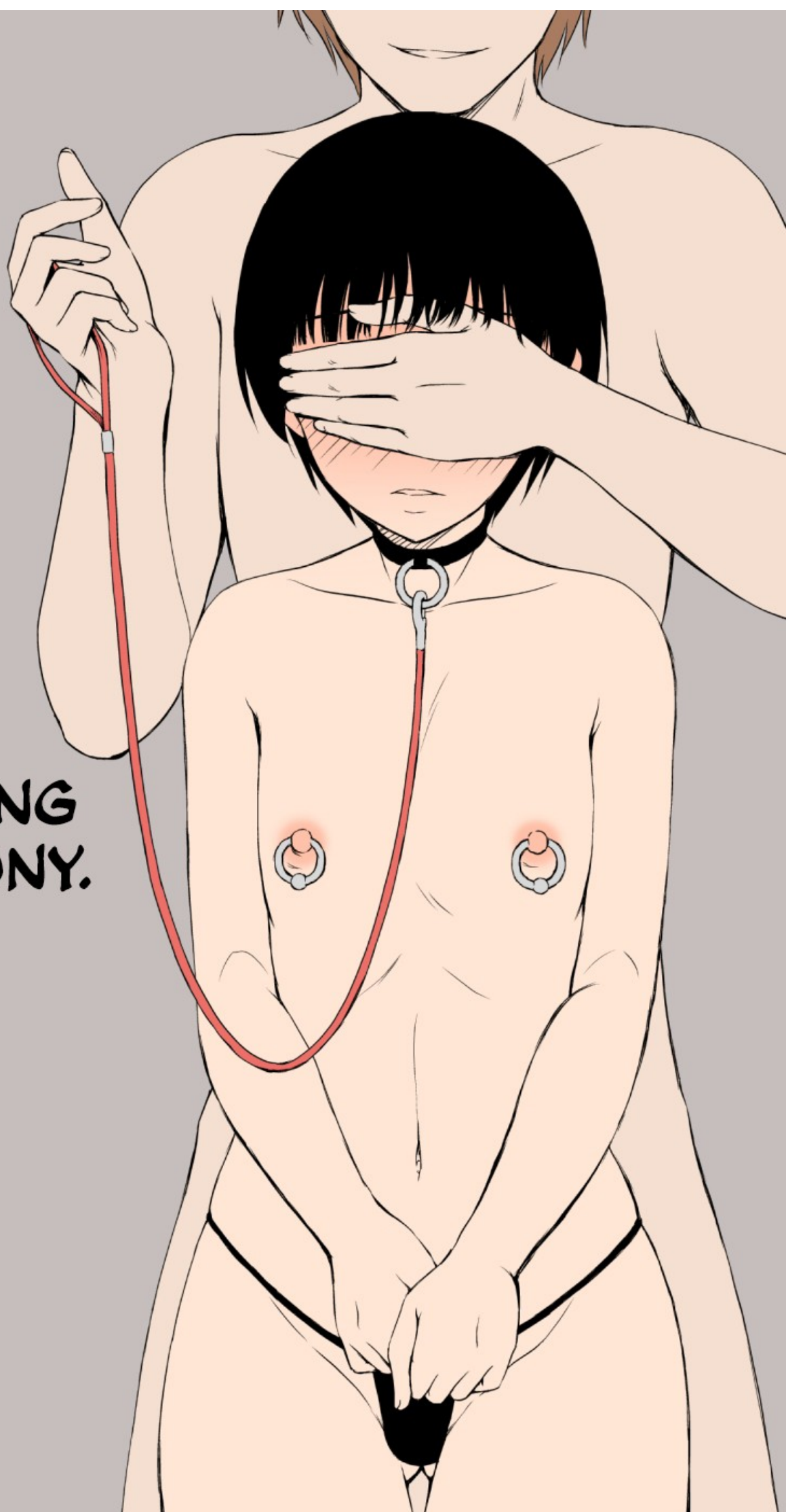


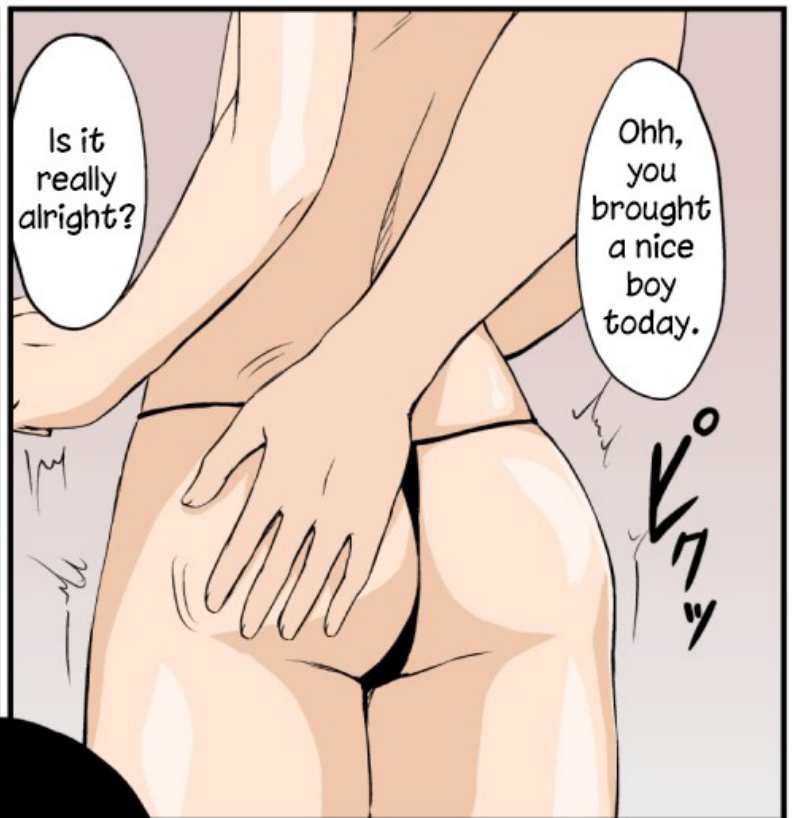
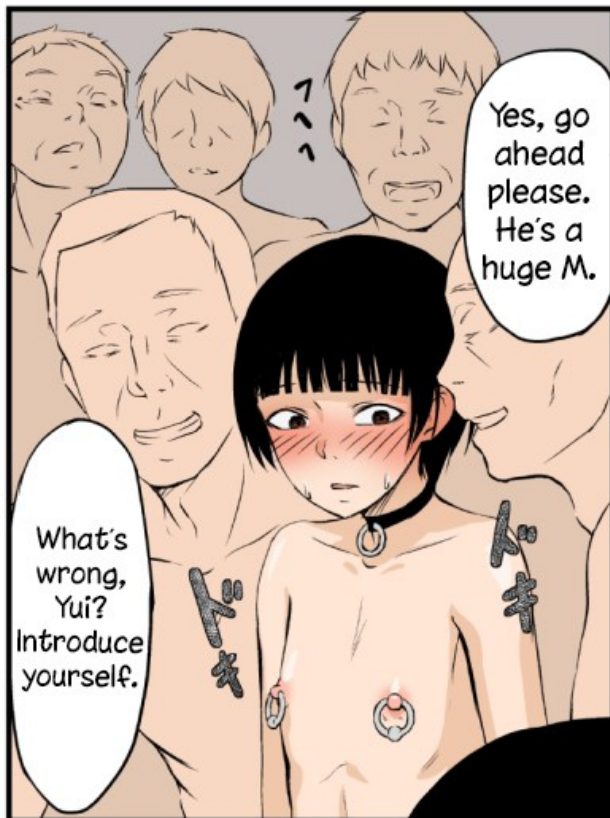
This
person
is my
senpai...

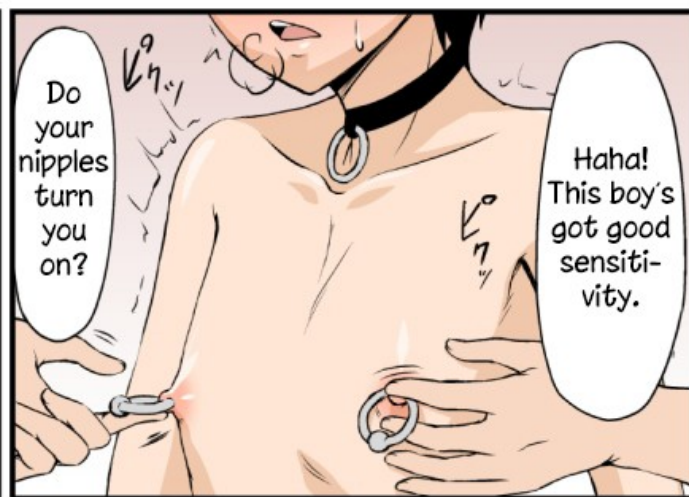
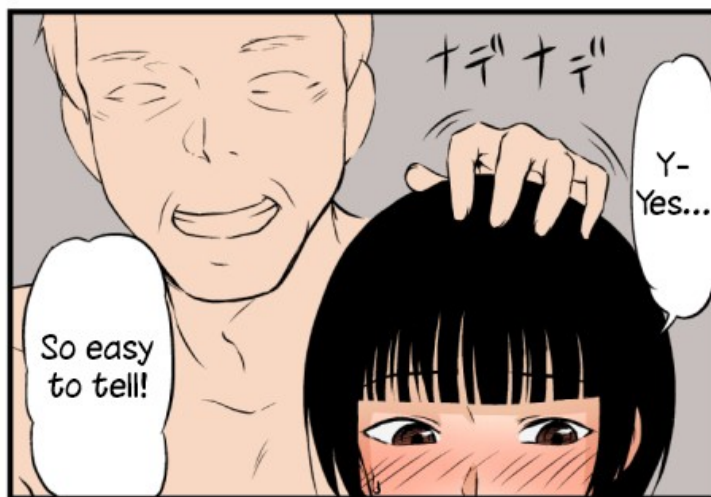


My
unveiling
cere-
mony.

**MY
UNVEILING
CEREMONY.**















GASP!

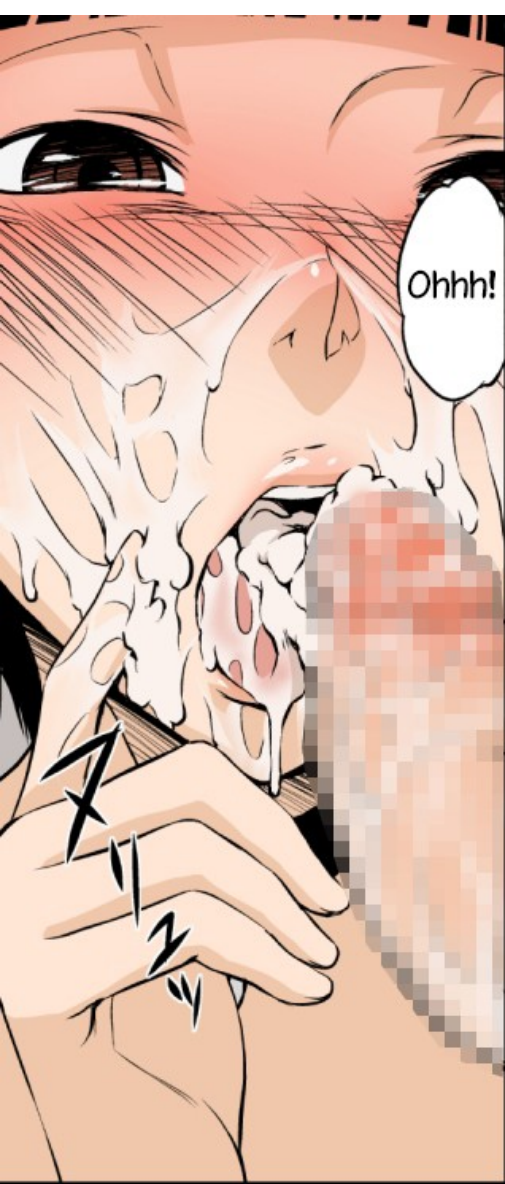
Woah~
Amazing!
Yui-kun,
me next!

C'mon!
Suck it!
Suck it!



SLURP

SLURP
SLURP
SLURP



Ohhh!

How
is it?
Taste
good?



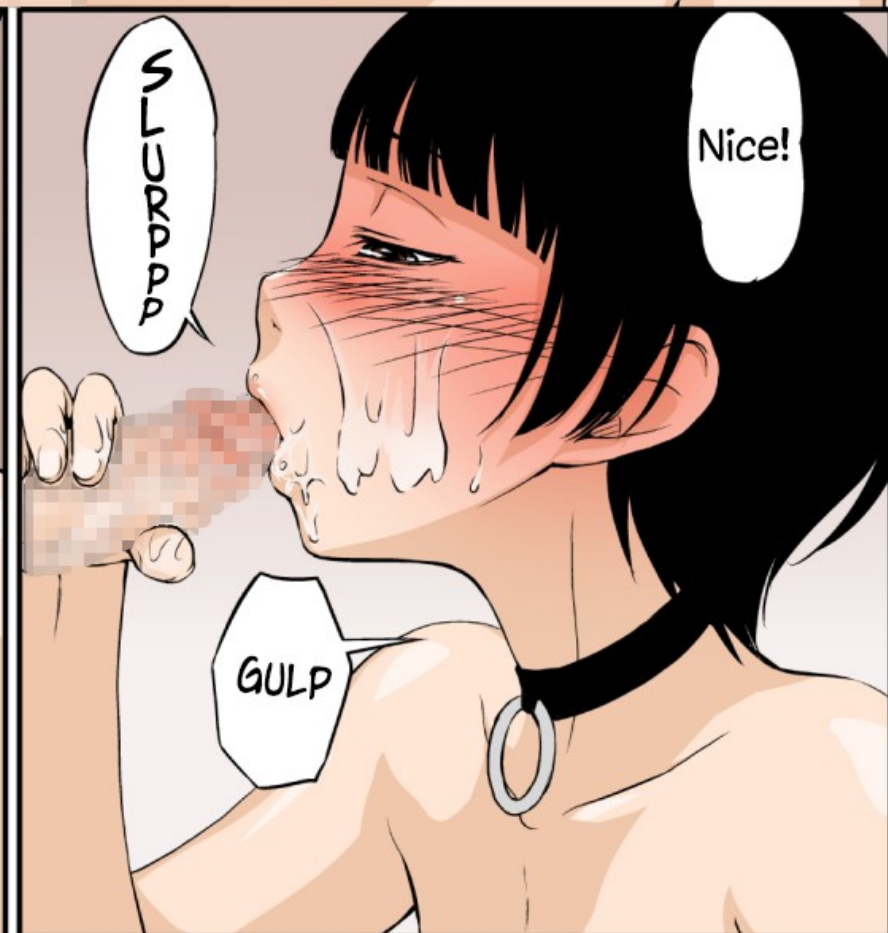
haa
haa

MUNCH
MUNCH

GULP



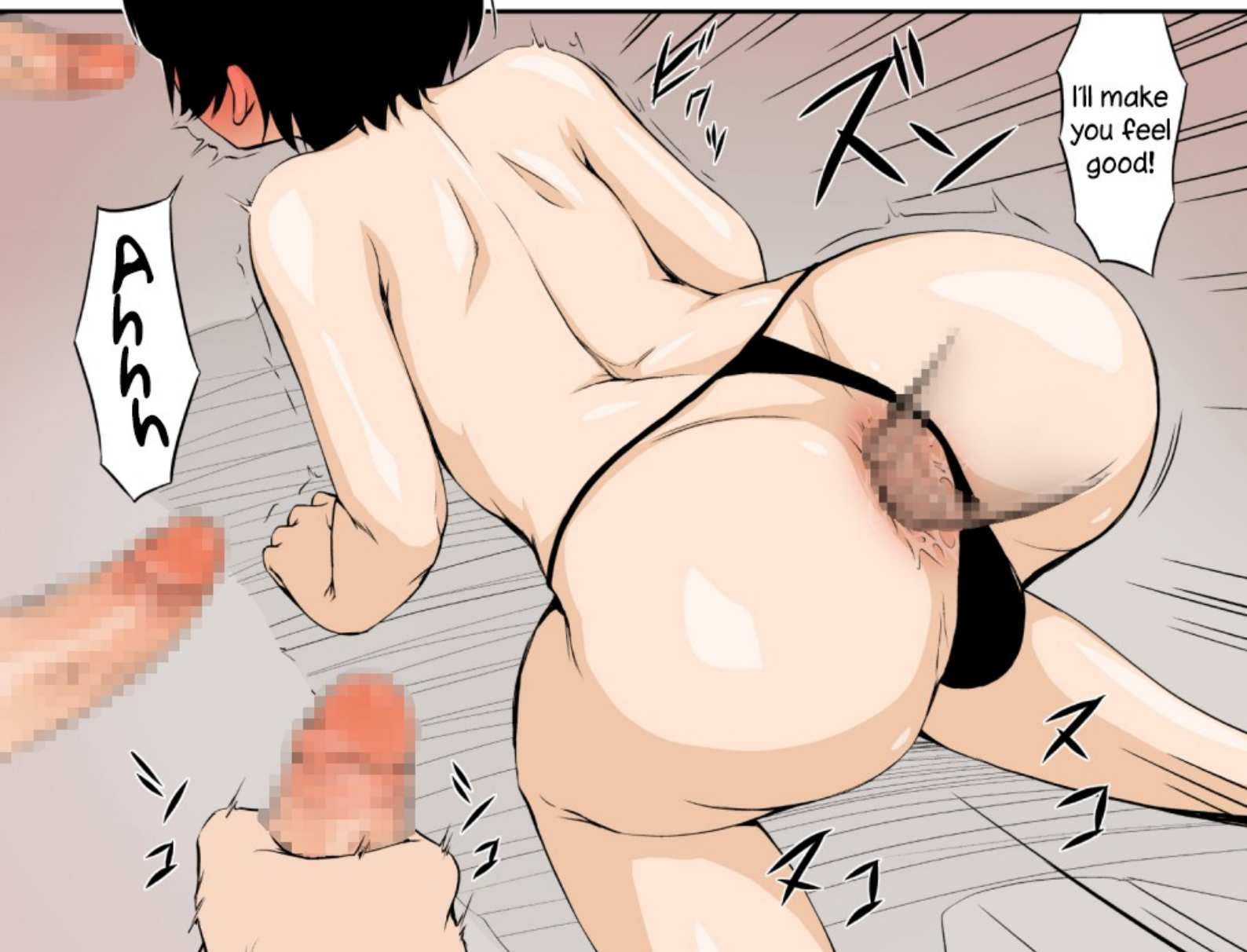
Is it okay
to start
down
here now,
Yui-kun?

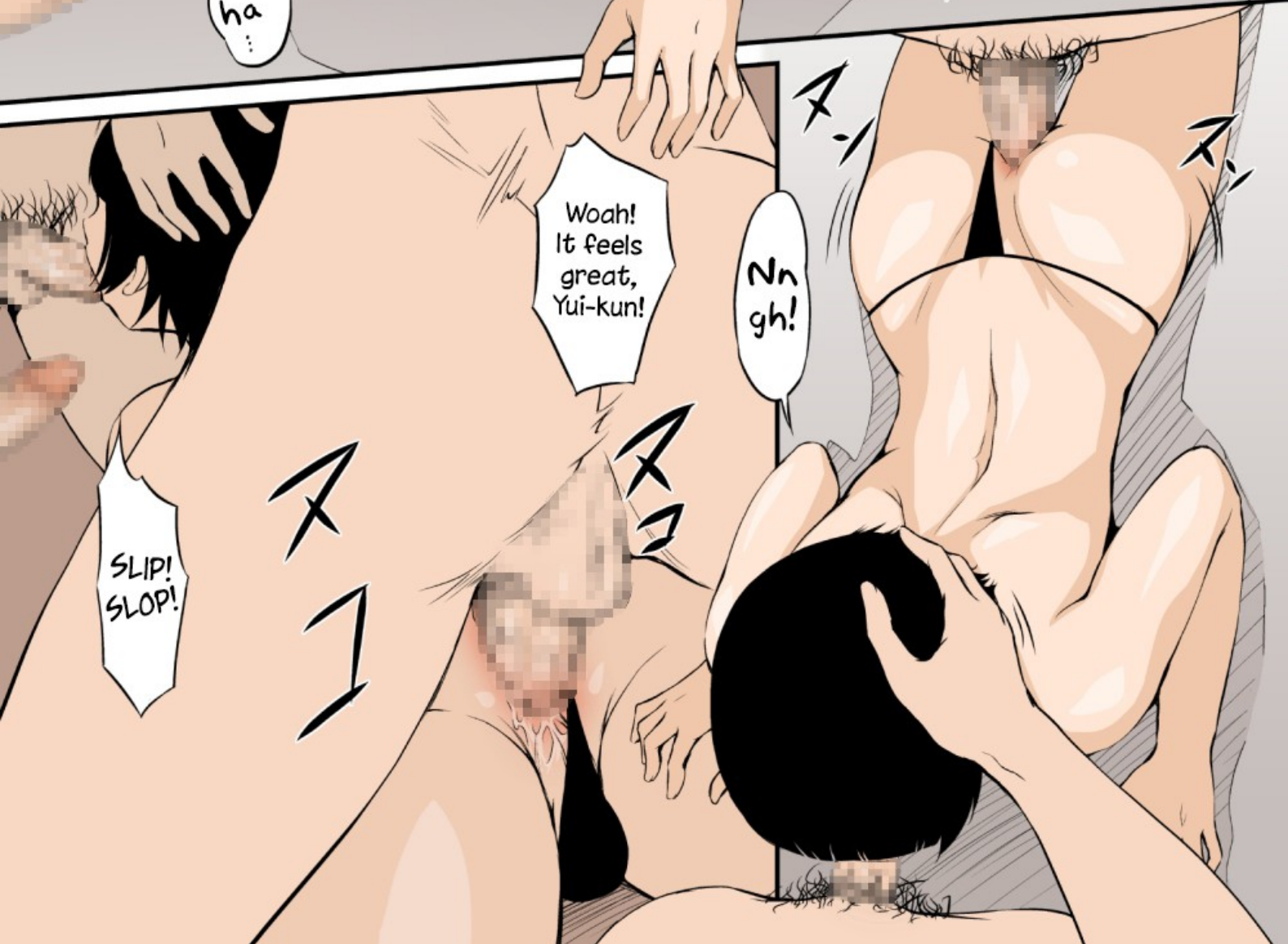


Nice!

SLURP

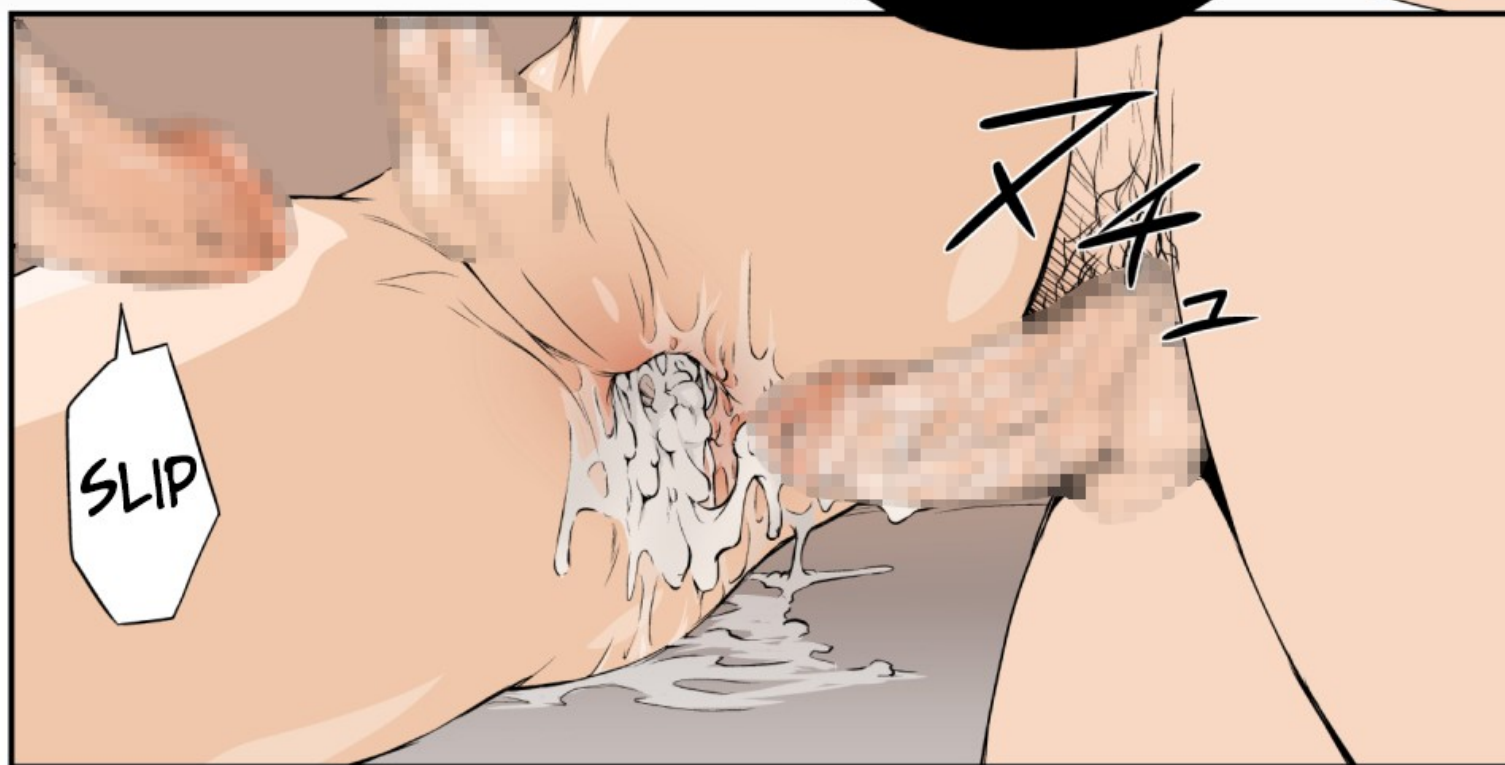
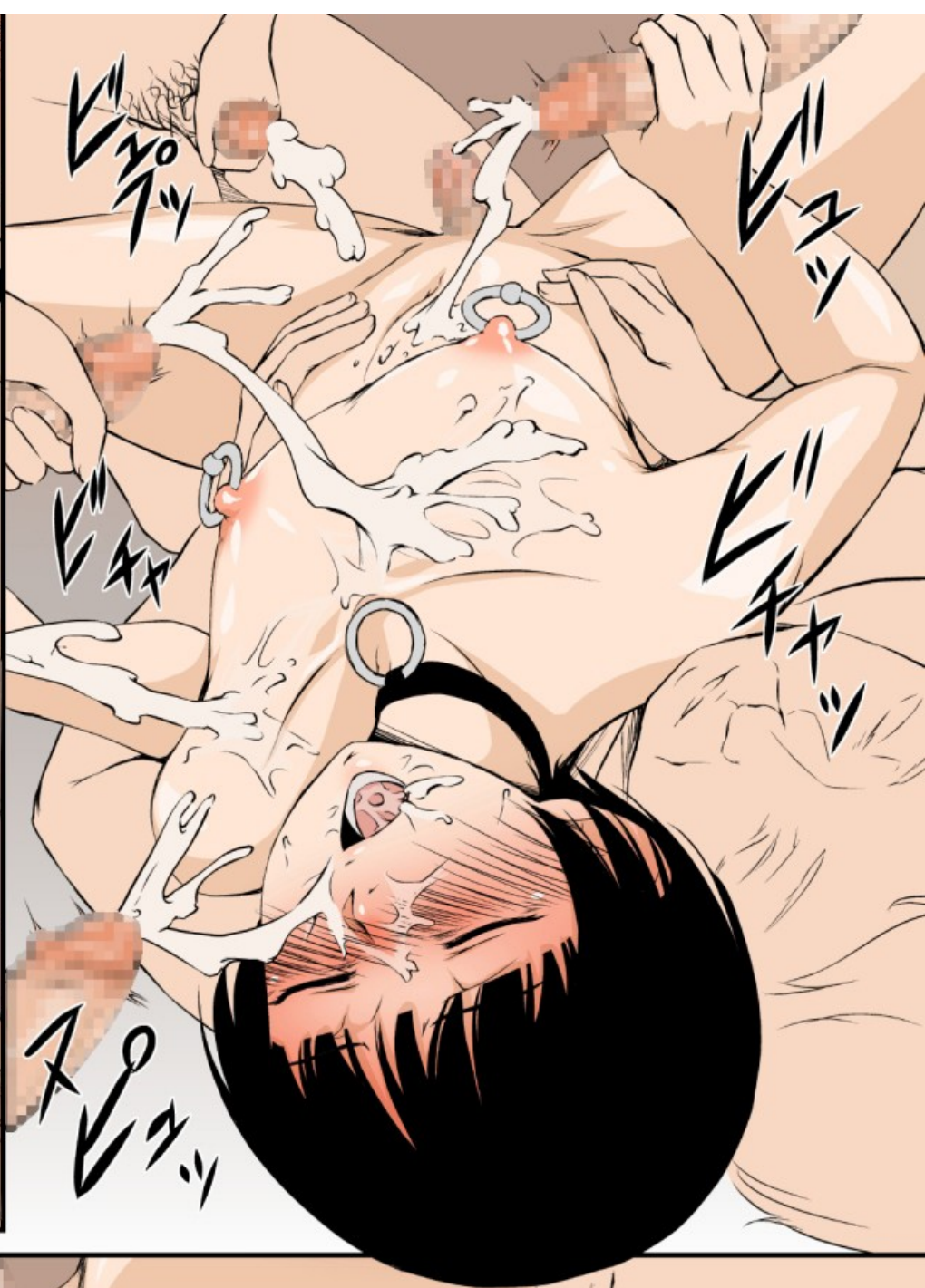
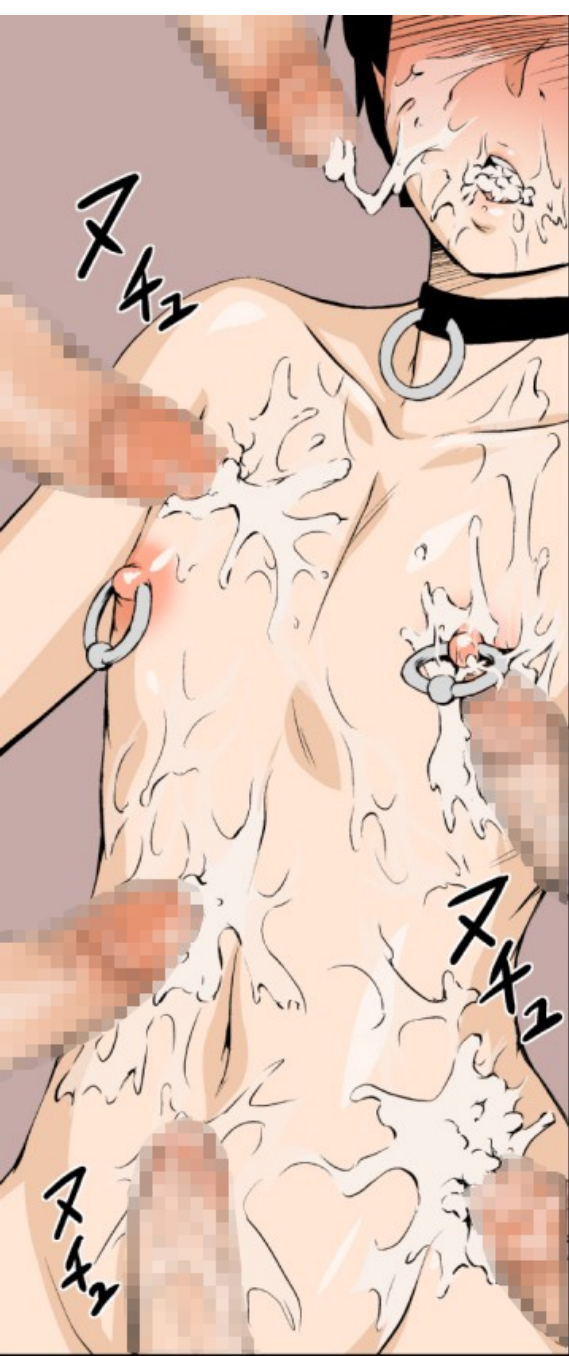
GULP

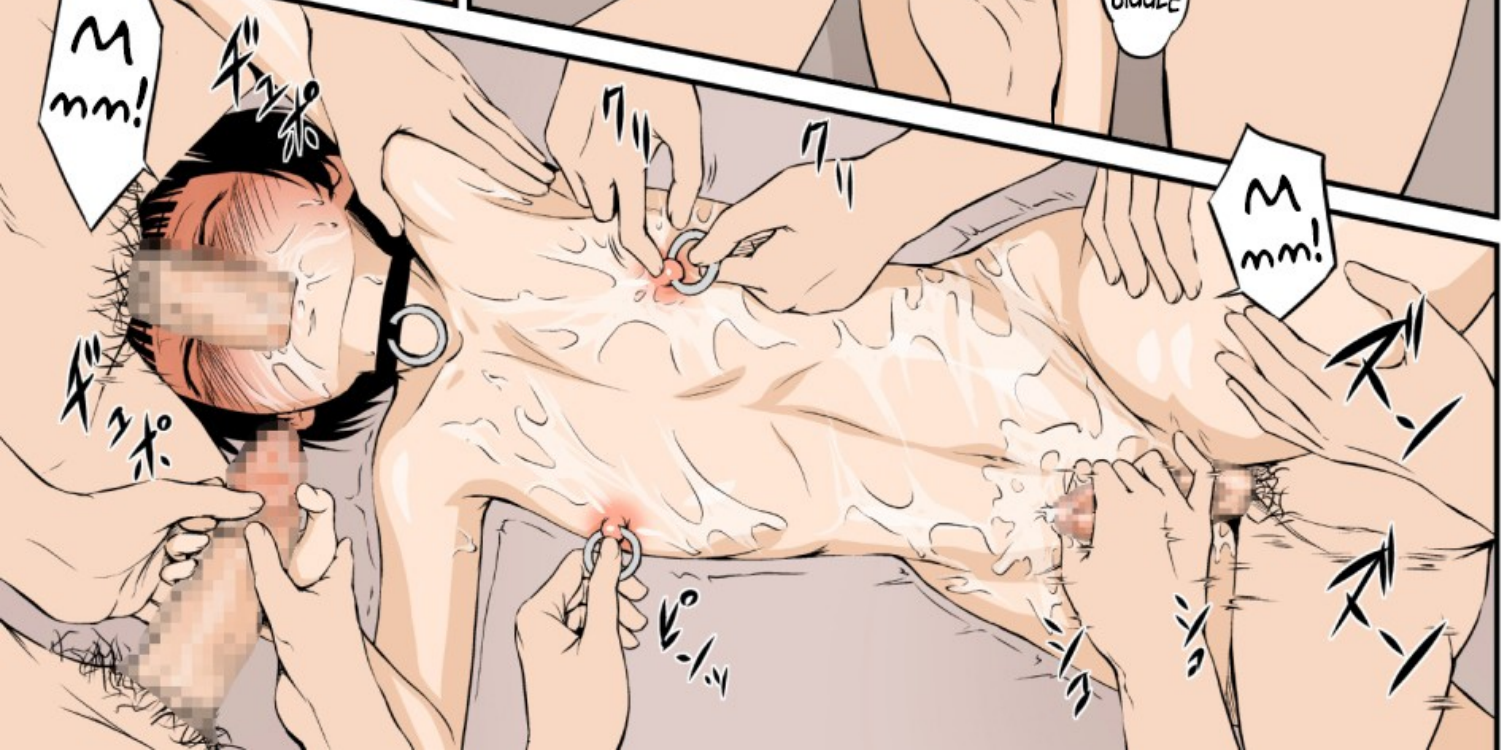
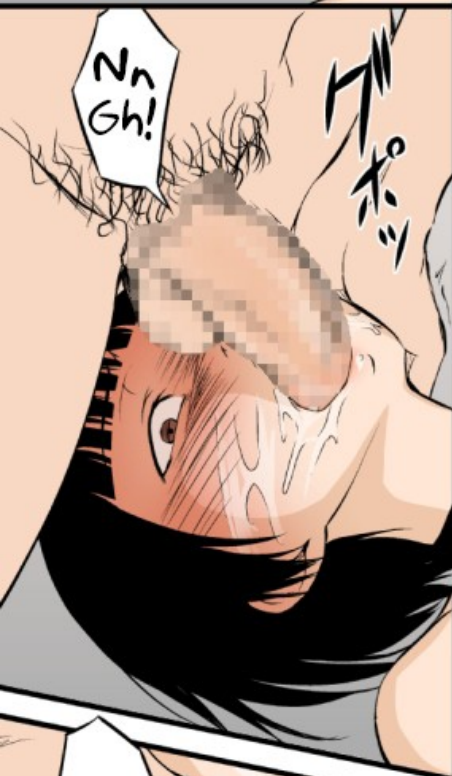


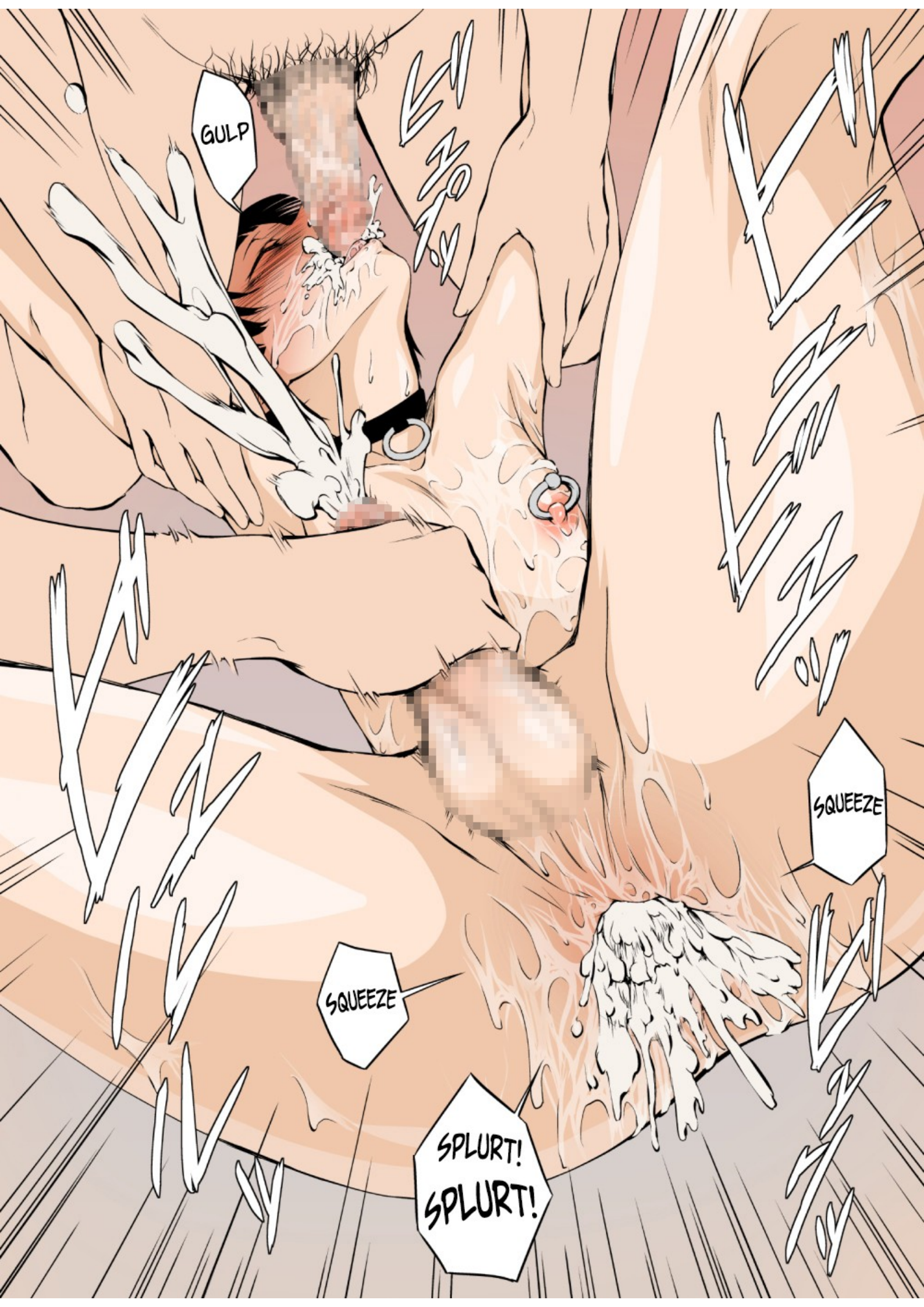












GULP

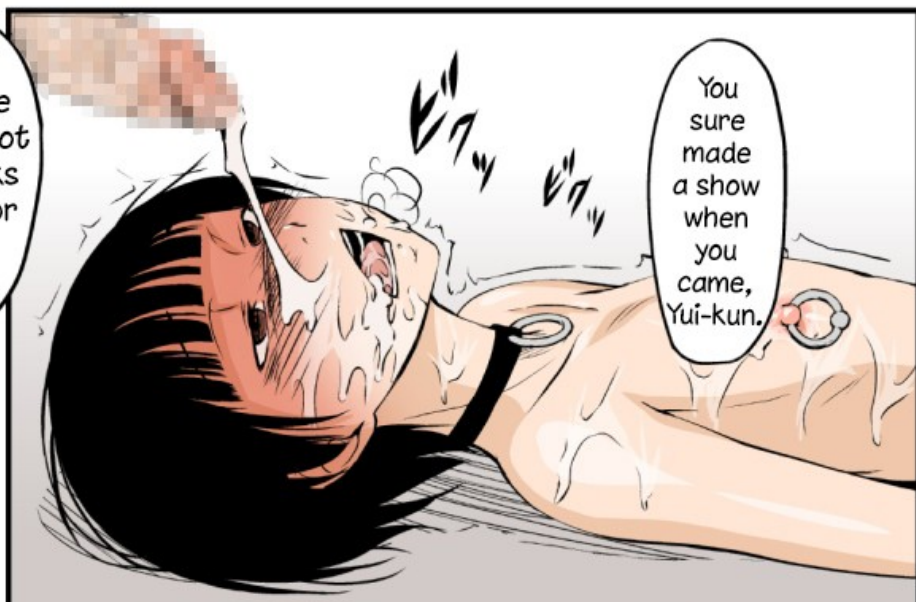
SQUEEZE

SQUEEZE

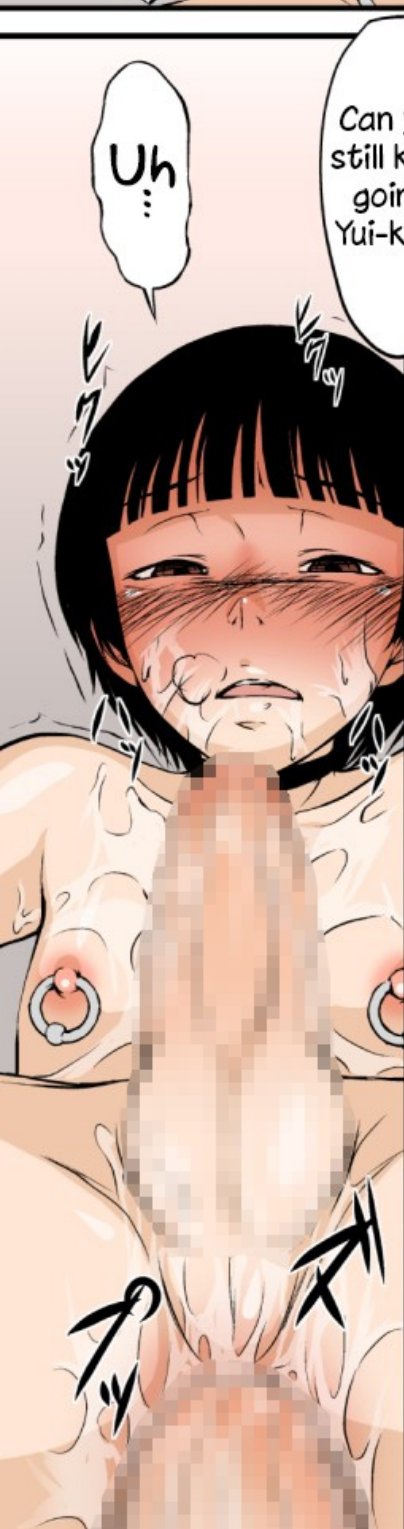
SPLURT!
SPLURT!



But you've still got a lot more cocks waiting for you.



You sure made a show when you came, Yui-kun.



Uh...

Can you still keep going, Yui-kun?



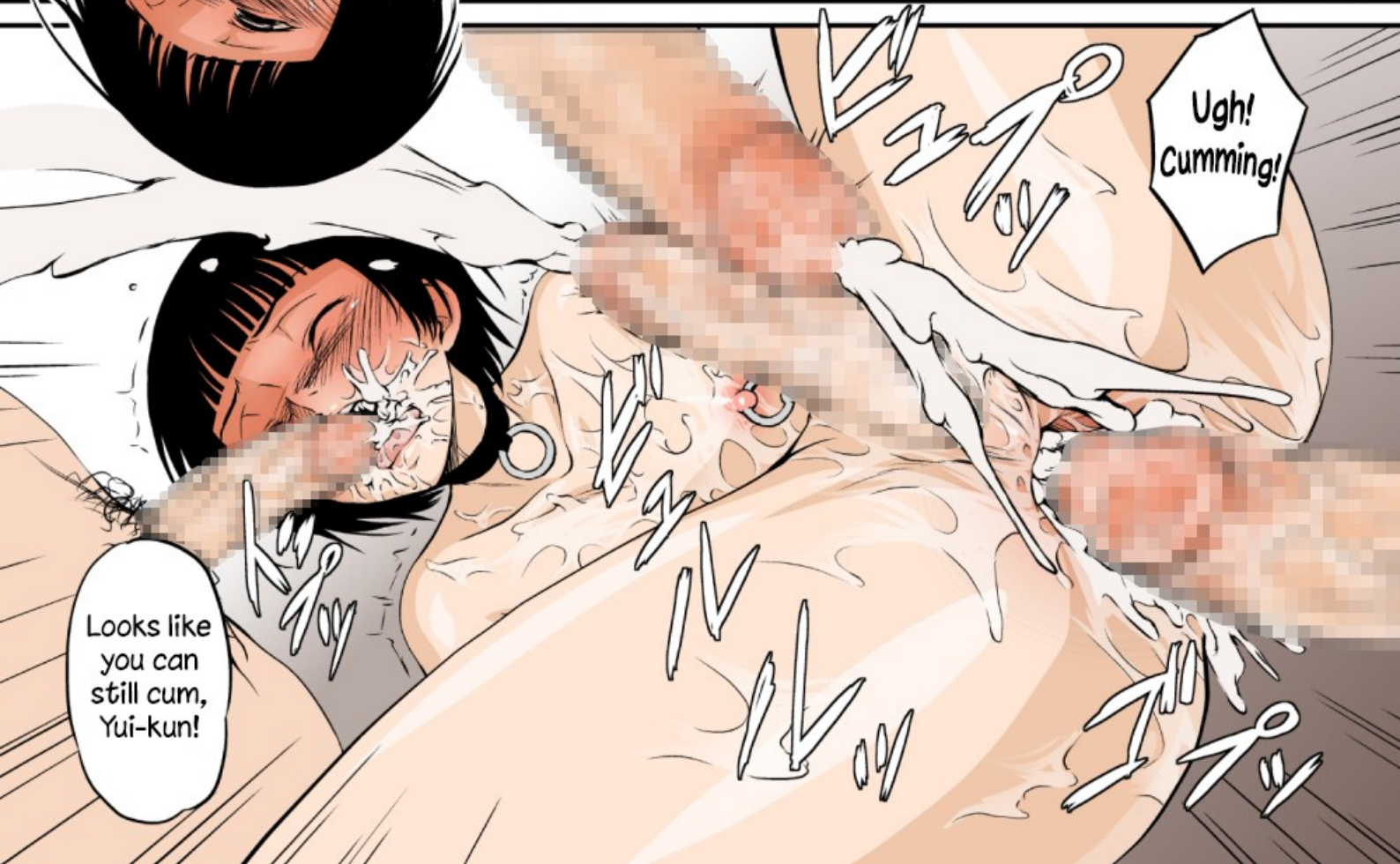
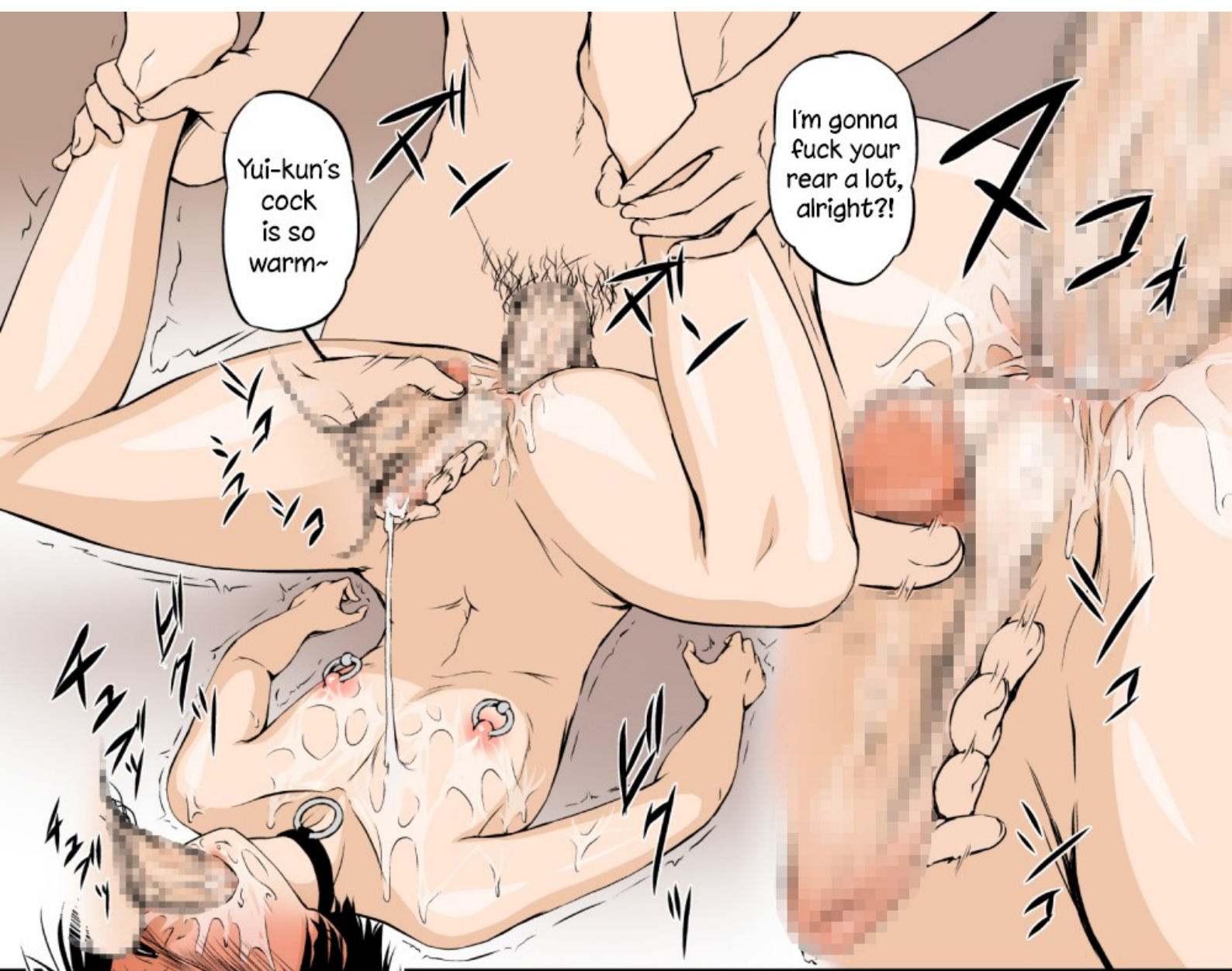
Ah...

Ah...

GULP

GULP

Ohhhh! He's gulping down the semen!





Oh?
Does your
back turn
you on
too?

Your ass
pussy
gets so
tight
when
you cum,
Yui-kun!



I'm
gonna
shoot it
all over
Yui-kun!

A close-up of a character's face, likely a dog, with its mouth wide open. White milk is splashing all over its face and fur. The character has dark eyes and a black collar with a silver ring.

Just how much did he drink?

I don't think Yui-kun's able to handle any more cum.

Whew... Guess we should call it a day then.

I think everyone came 2-3 times?



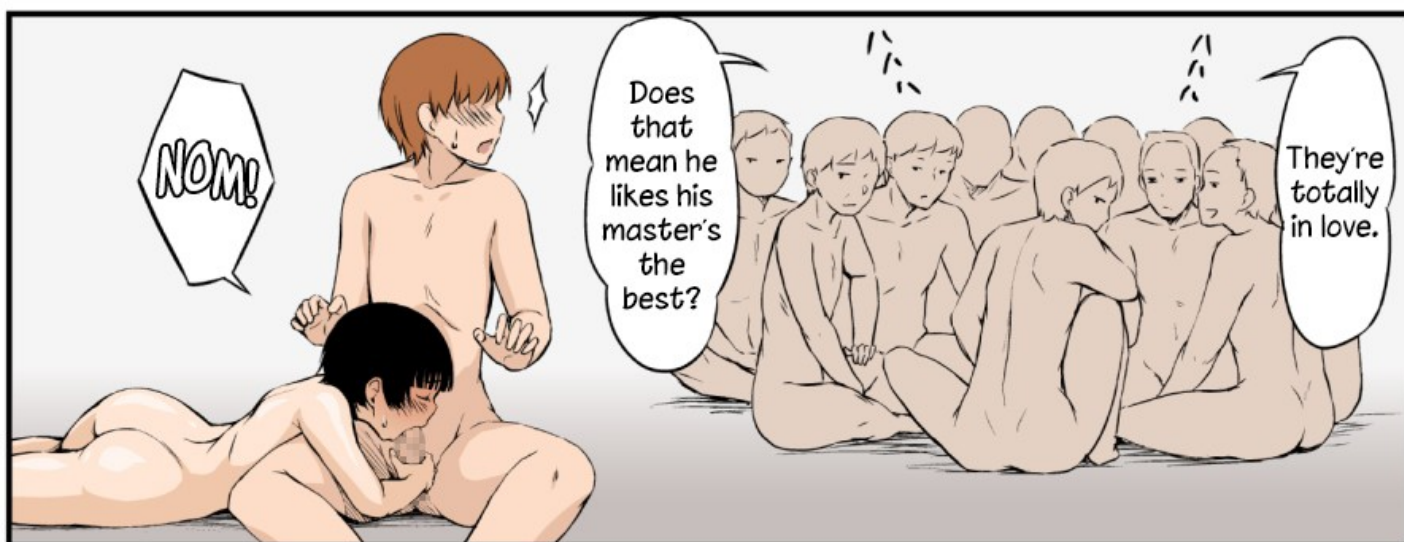
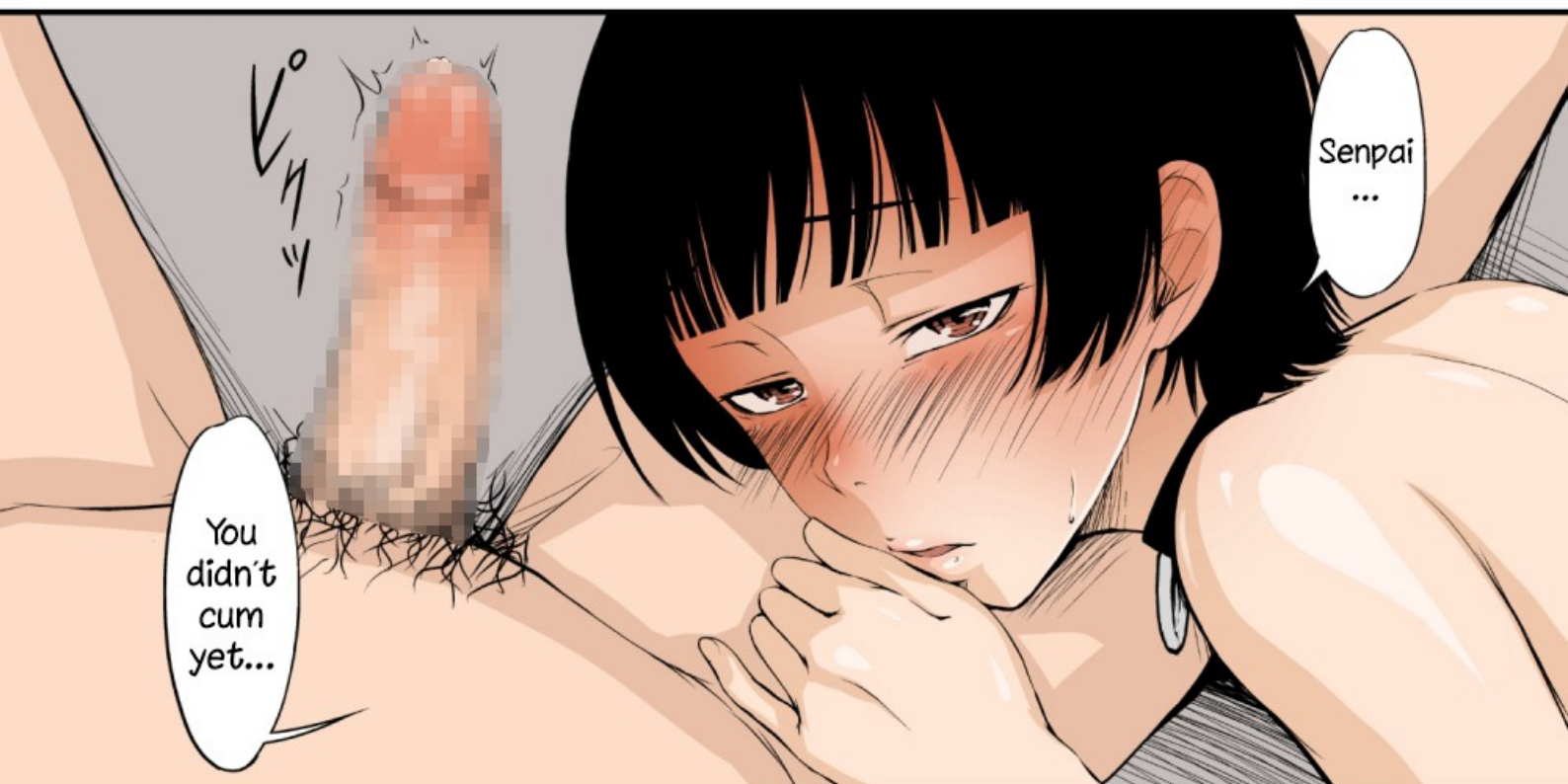


Thank
you,
Yui-kun.

That felt
good,
Yui-kun.

Thanks,
Yui-kun.

Thanks.



お買い上げありがとうございます、久季夕です。

この「僕のお披露目会」は僕が1年以上前に描いたものです
中身がなさすぎて発表せず放置していましたが、この度色を
付けて発売させていただきました。

なぜこうなったのかといいますと、僕が新しい作品の制作に
取り掛かるうとした際に、なるべくシンプルな内容にしよう
というテーマを立てたためです。

シンプルというのは、なるべく余計なコマなどを含めずに
即プレイへ繋がるようなものにすべきだという考えです。

それは、僕の未熟ゆえ起きる無駄で余計なコマやキャラを
ひとまず省いて作品の作り方を良い方向へ向けていくため
でした。

ですがこの際に、僕の中で過去に描いたこの作品が頭を
よぎりました。

僕の作った作品の中では、この作品が最もシンプルだったの
です。それを思い出した僕は、ならばこの作品を発表して
もよいのではとかんがえ…

以下略。

真面目にあとがき考えるの疲れたぜw まああれだぜ
未発表っつってももったいないから出したただけだぜ
色は塗りたかったからぬったぜ

っつっても塗る前の段階で発表してないから線画まで描いて
放置してたのを今になって色塗ったって経緯は今言ったわけ
だぜ。支離滅裂だぜ。作者は頭が悪いから多めにみてくれや。
俺は今回のが読者にどう映るのか心配だぜ。

いままでブラシをつかってガチャガチャ塗っていたのが今回
みたいな塗りになったのはどうなんだったね。

マンガが下手くそなのはいつものことだからどうでもいいぜ
みんなあれだろ？ブラシとかで描いたグラデーションのある
フワッとした塗りとかがいいんだろ？何塗りっていうのか
わからんからフワッといっとくぜ。

俺も理想としてはこういう塗りがしたいんだぜ。

でもな、時間がかかってしまうんだよ。圧倒的に。

なんっつっても俺は素人だからな。

塗りだけじゃない、マンガもキャラも全然定まらない。

実に素人くさくて中途半端。

なにせ今だって、

俺自身であるはずの作者のキャラ付けさえ定まらないしな。

Red Vodka

- Presents -

“My unveiling ceremony”
by Zenra QQ

Raw By: ashot2

Translation: Red Vodka

Edit: Derp1

QC: Red Vodka

DOWNLOAD AT:

RedVodkaTranslations.blogspot.com